

記念賞
応募

こうちしょうぎょうこうとうがっこう

しょうひんかい はつ・はんばいそくしんぶ

高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部

～ジビエ利活用で循環型社会の実現～



小学生と開発した浦ノ内スペシャルバーガー ジビエを利活用したペットフード商品 改良・他校との販売を目指す「鹿ジャーキー」

取組内容

- 高知県の地域課題の一つである野生鳥獣被害に目を向け、平成30年4月に設立し、活動を開始。シカやイノシシ肉をジビエとして利活用、商品化、販売、ジビエの消費拡大、森林保護活動を行っている。
- 選定後に発展させた取組として、小学生とともに地域資源を有効活用する取組、ジビエでペットフード商品化、他校とのつながり等がある。

前回選定後の情報発信の取組

- 選定後、Instagramフォロワー400人台から現在は635人に増加。
- 地元テレビ局が配信したニュースの動画の再生回数の増加のほか、活動発表依頼数、新聞掲載(Web記事を含む)件数が増加。
- 他校の新聞部からの取材依頼を受けるようになった。
- 地元放送局が特集番組を放送するためにジビエ商品開発・販売促進部を密着取材しており、全国放送も計画されている。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 地元地域の資源を「ジビエ」ととらえた須崎市立浦ノ内小学校5年生と共同商品開発。
- 森林保護への寄付金額の増額を目指して、昨年度より利益を上げるにはどうすべきかを考えたジビエ部員はペットフード商品化を決定。
- さらに自分たちでこの活動をより多くの人に知ってもらおうと全日本鹿協会主催の「シカ展2023」などでジビエ部が取組の活動発表を行った。その中で同じくジビエを取り扱い、地域活動を展開している高校生と交流しつながることができた。

応募団体からのアピール・メッセージ

「何をやっても無駄なことはない。すべてがつながる日が来る」と先輩たちが後輩たちに引き継いできたことを継承し、ジビエで陸の豊かさを守り抜くため、ジビエ部は変わり続け、挑戦し続けます。

住所・電話番号・SNS等

高知市大谷6番地 Tel:088-844-0267